

第 4 回定時總會議事録

開催日時 2003 年 5 月 12 日 13:30-15:00

開催場所 中央大学駿河台記念館 285 号室

東京都千代田区駿河台 3-11-5

日本技術者教育認定機構

総会成立報告と議事録署名人選任

開会に先立ち、福崎専務理事が本日の出席及び代理出席数は 48 名、議長一任の委任状が 19 名で正会員総数 91 名の過半数であり定足数を満たし本理事会は成立することを報告した。引き続き吉川弘之会長が議長となり以下の審議と報告を行った。また、議事録署名人として議長の他（財）農学会会長 高橋信孝氏及び工学院大学理事長 大橋秀雄氏を選任した。

第 1 号議案 2002 年度事業報告（案）及び収支決算報告（案）

福崎専務理事が、総会資料にもとづき 2002 年度事業報告（案）概要を報告した。参考資料 1 に掲載された 2002 年度認定・審査プログラムの 32 件について小野田副会長から、認定・審査の経緯と手順及び分野審査委員会、認定審査調整委員会、認定委員会それぞれの組織の役割について詳細な説明がなされ 4 月 15 日の理事会の承認を経て認定プログラムを公表したことが報告された。引き続き福崎専務理事が収支決算書と財産目録について説明し、三井監事から適正かつ正確であるとの監査報告がなされ第 1 号議案は原案通り承認された。なお、取扱額が増加しているため公認会計士による会計処理の適正化をお願いすることが望ましいとのコメントが追加された。

委員会報告

1) 運営委員会

大橋委員長から運営委員会の役割についての説明と主な審議事項として会員加入、委員会人選、ワシントンアコード加盟、認定・審査の手順と方法等改訂、認定審査受理、広報やホームページの充実など運営委員会活動全般について報告がなされた。

2) 認定委員会

小野田認定・審査調整委員会委員長から委員会の構成と 2002 年度の 2 月 26 日の認定委員会には 8 名の認定委員と説明者として 8 分野の審査委員長が出席し分野毎にまとめて報告し特に、問題のあったプログラムについて詳細に検討したうえ 32 プログラムが認定されたと報告された。今後、認定数の増加に対し効率を上げることとオーソリティの継続が課題であるとの説明があった。

3) 認定・審査調整委員会

小野田委員長から委員会の構成及び 2002 年度は 7 回の全体会議と 3 回のワーキンググループ会議が開催されたこと、審査の守秘義務のルール作りも合わせ実施したとの報告がなされた。認定申請数の増加とワシントンアコード対応のため実施体制の見直しと体制作りが必要との説明があった。

4) 基準・試行委員会

大中委員長から委員会構成と主な審議事項として認定・審査の手順と方法及び自己点検書の改訂、試行、審査員養成、新規分野の設定について説明がなされた。認定・審査の手順と方法と自己点検書作成の手引きの改訂の主旨、暫定措置は 2007 年度以降なくなること、37 プログ

ラムの試行の実施、環境工学および生物工学分野の設定、ABET とのワークショップ開催等について報告された。

5) 総務委員会

小野田委員長が委員会構成、主な議題として会員状況、広報活動、分野別審査委員会の仕組みづくり、行政からの受託事業、審査料等について報告した。審査料については中間審査料を決定したこと、高専の審査方法と審査料はケースバイケースの対応も必要であること、オブザーバ参加の費用負担など学協会の負荷が大きく来年度には若干の値上げと効率的審査を前提にたたき台作りを行っていることが報告された。

6) 事務局長連絡会

福岡事務局長から正会員学協会に対する連絡会を今期3回開催し委員会等 JABEE 活動の報告と正会員からの意見の反映を行ったことが報告された。

7) 産業諮問評議会

産業諮問評議会は産業界の要望・注文の吸い上げと支援のため設置され活発な意見が出される。2002年の評議会に加え2003年4月に行われた評議会で認定・審査の拡大、ワシントンアコード対応、大学院外部認定の導入、技術士制度との連合、就職活動と学習時間への影響など話し合われたと小野田副会長から報告された。

第2号議案 2003年度事業計画(案)並びに収支予算(案)

福岡専務理事から総会資料の2003年事業計画書に基づき事業計画(案)の概要を説明した。大橋副会長から本年6月のワシントンアコード総会で JABEE の認定システムについて進捗状況を報告し正式加盟を申請すること、本年秋の認定審査には審査団を受け入れる予定であることなど説明された。また、学校教育法の一部改正とともに認証評価制度が始まるにあたり JABEE も認証評価機関として認証されることが望ましいこと、新技術士法で認定プログラム修了者を修習技術士として登録する手続きが遅れていることについても追加説明された。

福岡専務理事から上記事業計画に基づく2003年度収支予算案並びに平成15年度委託・委嘱調査案の説明があり原案通り承認された。

第3号議案 理事・監事改選(案)

福岡専務理事から、今回は理事・監事改選期であるが新任学協会会長の一部交替の他は再任をお願いしたいとの説明があり総会資料別紙-1の2003年度理事・監事予定者について原案通り承認された。

閉会の挨拶

閉会に先立ち吉川会長から JABEE の活動は先駆的な仕事であり目標に近づいていること、科学技術への期待などを込めた挨拶がなされた。大橋副会長からは学協会の熱意に謝辞が述べられ、また外への発信が必要であること、JABEE の精神が教育現場に浸透し始めたこと、創業の時代から第 2 世代へのバトンタッチができるよう責任をもって進めたいとの挨拶がなされ第 4 回定時総会を終了した。

2003 年 5 月 12 日

議長（署名）

議事録署名人（署名）

議事録署名人（署名）